

世界農業遺産「清流長良川の鮎」として 認定されるまでの川づくりから遺産保護と 清流長良川を後世に引き継ぐ「川づくり」を目指す。



NPO法人 長良川環境レンジャー協会

〒502-0071 岐阜県岐阜市長良堤無番地
TEL/FAX 058-294-3971
URL <http://www.business1.jp/nagaragawa/>

河川清掃と啓発を主体に河川環境保全を図るため、流域の多数の住民、企業、行政、子供達等と連携し、水質・水生生物調査等環境教育活動を通して節度ある河川利用と河川愛護の精神を植え付ける活動を行うとともに、この活動を通して長良川の未来の担い手の育成と良好な河川環境を後世に引き継ぐことを目指し18年間活動してきました。そんな中、平成27年12月に長良川上中流域を範囲とする「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されました。今後、「地域の活性化と、農業遺産保護」をどうしていくかが最大の問題であると考え、環境保護活動を通した「川づくり」を継続して進めていきます。

【具体的な活動内容】

- ・河原の清掃活動・マナー向上啓発
「美しい長良川で楽しんでいただきたい」を合言葉に、清掃活動やゴミ持ち帰りなどのマナーアップキャンペーンの実施。
- ・長良川流域連携クリーン作戦活動と流域一斉環境調査
「伊勢湾にゴミを流さない」を合言葉に源流から河口まで、流域住民・団体・企業・行政・子供達と共同して実施。
- ・長良川の「砂礫河原再生」維持管理活動
昔の長良川には白く輝く河原が広がっていました。しかし、近年河原にはたくさんの植物が生え、特に外来種の増加が目立ち、本来河原にある河原固有の在来植物が減少している。長良川らしい白く輝く河原にすべく「河原の植物観察会」を開き、外来植物の除草体験や交流を通して砂礫河原の継続的な維持管理について考えています。
- ・河川安全利用調査と啓発活動
河原利用者の増加につれて、利用モラルや川の危険性の知識不足から水難事故が多発していることから、安全利用調査とともに啓発活動を実施しています。
- ・環境教育活動(後継者育成対策等)
青少年を対象とした環境学習を通して、長良川の未来の担い手の育成と、川づくり活動維持のための取り組み。



長良川流域連携クリーン作戦活動(関市地点)



木曾三川水生生物調査(長良川・忠節橋地点)